
魔法少女リリカルなのはStrikerS ~ 紫紺の切札 ~

オニキス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのはStrikers 紫紺の切札

【Nコード】

N9553Z

【作者名】

オニキス

【あらすじ】

第13管理外世界。その世界に住むカズマは、自分の居場所を奪った時空管理局に復讐をするため、自らが53枚を束ねる新しい切札となる。しかし、一人の女性との出会いがカズマの運命を変えていく。人間と切札。カズマが最後に選択するカードはどちらか・・・。

切札1：第13管理外世界（前書き）

初作品です。

未熟な文章能力です。

まともなのは、仮面ライダーとなのはに対する愛情だけです。

そんな作者の作品を許せる寛大な方のみご覧ください。

切札1：第13管理外世界

第13管理外世界。ここには魔法が存在せず、基本的な文明や文化も地球と同じ。しかし、生物学だけは異常に発展し、ミッドチルダをも圧倒している。

この世界では、人々が異形の脅威にさらされていた。一人の科学者が生物学のさらなる発展のため、不死身生命体 アンデッドの封印を解放してしまったのだ。

アンデッドを再封印し事態を終息させるため、ある研究機関はライダーシステムと呼ばれる4つのバトルスーツを開発。そして、4人の青少年がライダーシステムの資格者となりアンデッドの再封印を行っていた。

降りしきる雨と轟く雷。その中に、二つの異形が互いに間合いを取って睨み合っている。

???「全てのアンデッドは封印された。残るはジョーカー、お前だけだ！」

そう叫ぶのは、十二種の生物のレリーフがついた黄金の鎧を全身に纏い、カブトムシを模した仮面の戦士、ブレイドキングフォーム（以下BK）。

黒い全身に所々に緑のライン。刺刺しい右半身のカミキリムシに酷似した異形にBKは「重醒剣キングラウザー」を構える。

ジョーカー「あああああああああ！！」

ジョーカーと呼ばれた異形は、すさまじいオーラを発し鎌の形をした短剣を手に、BKに切りかかる。

ガキン

BK「はああああああ。ウェイ！」

BKはジョーカーの攻撃をキングラウザーで防ぎ、すかさず渾身の右ストレートを放つ。

BKの攻撃により吹き飛ぶジョーカー。

BKは鎧の5か所のレリーフから5枚のカードが出現させ、それを手に取りキングラウザーに読み込ませる。

「スピード10・J・Q・K・A　ロイヤルストレートフラッシュ」

BKは自身の最強の必殺技、ロイヤルストレートフラッシュを発動。莫大なエネルギーを剣に纏わせ、ジョーカーを切りつける。

そのエネルギーにより大爆発が起こる。そしてジョーカーは地面に倒れこみ、全く動かなくなる。

トランプ型のカード、ラウズカードを投げるBK。

アンデッドはいかなる手段でも、どんな攻撃を受けても死なない。

行動不能状態にはなったところでラウズカードに封印する。それが唯一の対処方法である。

カードに吸い込まれるジョーカー。
それを手にするBK。

この瞬間、全53体のアンデッドの封印に成功。アンデッド事件が
終わりを告げる。

しかし、この世界には間もなく新たなる脅威が訪れる。
そして、一人の少年の運命が大きく歪むことになる。

切札1：第13管理外世界（後書き）

小説が、戦闘描写がこんなに難しいとは。

ジョーカー叫んでるだけじゃん。ジョーカーファンの方、ごめんなさい。

ジョーカーの力は主人公が受け継ぎますのでご了承ください。

誤字脱字。未熟な作者へのお叱りの言葉、お待ちしております。

オリジナル主人公（前書き）

随時更新していきます。

主人公の外見は「ブレイドの世界」の剣立カズマを幼くした感じ
です。

オリジナル主人公

名前：カズマ

性別：男

外見年齢：17歳（アンデッド化により年齢という概念が無くなった）

出身：第13管理外世界（通称ボード）

性格：本質は明るく優しい

13歳で人類基盤研究所の研究員・スペードのライダーシステムに選ばれた天才。アンデッド事件ではブレイドとして戦った。研究所の唯一の生き残り。

管理外世界で育ったが襲撃した魔道士を調べるうちに、ミッドチルダ、魔法、時空管理局の存在を突き止める。

手始めに機動六課を襲撃。しかし六課との激しい戦闘の末に撤退し海岸で力尽きる。

そこでノーヴェと出会う。ノーヴェやナカジマ家と触れ合い、復讐を止め、もう一度人として生きることを決意するが……。

EX エクストラ ジョーカー

カズマが53体のアンデッドの遺伝子と融合した新しいジョーカー。外見はオリジナルの緑の部分が青くなっただけ。

オリジナルのように他のアンデッドの姿には変身できないが、53枚のラウズカードを所有しているため戦闘力は高い。しかし、元が人間なのでスタミナが低い。

当初は復讐心のままに動く機械同然だったが、ノーヴェと出会いで変化の兆しが見える。

オリジナル世界と仲間

第13管理外世界（通称ボード）

基本的な文化、文明は地球と同じ。

生物学だけは異常に発展しており、ミッドチルダをもしのぐ。

ある科学者が、不死身生命体・アンデッドの封印を解く事件（アンデッド事件）が発生するも、4つのライダーシステムによりラウズカードへの再封印に成功。

管理局の最高議会はこの不死の力に興味を持つ。

人類基盤研究所

第13管理外世界における最高レベルの研究所。ライダーシステムの開発、ラウズカードの管理もここで行われていた。

最高議会はラウズカードを奪うために魔道士を送り込むが、4人のライダーとの戦闘により作戦は失敗。

ラウズカードは守りきるが研究所は壊滅、カズマ以外の研究員は死亡する。

ライダーシステムの適合者

サクヤ（享年33歳）

ダイヤのライダー・ギャレンに変身して戦っていた。4大ライダーのリーダー格。

カズマにとっては父親のような存在。

ハジメ（享年33歳）

ハートのライダー・カリスに変身して戦っていた。

サクヤ同様、カズマにとっては父親のような存在。

ムツキ（享年23歳）

クラブのライダー・レンゲルに変身して戦っていた。

カズマにとっては良き兄貴分だった。

武器・コンボ・能力設定

武器

EX>エクストラ<ラウザー

カズマが魔道士のデイバイスを知り、開発した専用武器。イメージは、キングラウザーの金の部分が青くなったもの。普段は待機モード（カリスラウザーの形）として、ベルトのバックル部分に取り付けられており、戦闘時に取り外して起動させる。

コンボ

ファイブカード

4枚のAとジョーカー（黒）を使用。詳細不明

ロイヤルストレートフラッシュ

原作同様スピードの10・J・Q・K・Aを使用。エネルギーを剣に宿して切る、又は放出する。

威力はSSSランクを遥かに凌駕する。使用後は強制的に人間に戻り3時間ほど戦闘不能状態になる。

他のスートでも使用できるが、カズマはスピードのみ使用。

ストレートフラッシュ

各スートの2・3・4・5・6を使用。原作とは違い、EXラウザーのみで切る、又はエネルギーを放出する。スピードは雷、ダイヤは炎、ハートは風、クラブは氷属性の技となる。

威力はSランクに匹敵。消費は激しいが戦闘不能状態にはならない。コンボと能力の使用は不可。

フォーカード

原作同様、各スートの6とスペードのKを使用。雷、炎、風、氷属性のエネルギーを剣に宿して切る、又は放出する。

威力はAAランクに匹敵。上記の技より消費が軽く、使用後も技や能力の使用が可能。

能力

原作のKフォーム同様、単体ならラウズせずにアンデッドの能力を発動できる（例：スピードの5「キック」⇨強化キック）。エネルギーをほとんど消費せず、戦闘時はこちらがメインとなる。

切札2：組織壊滅（前書き）

仮面ライダー剣の第1、2話の脚本タイトルと同じです。

当時、橘役の天野さんはタイトルを見て「え！？いきなり」と思ったそうです。

会話させるのって難しい。他の小説を参考にしているのですが、うまくいかない。

切札2：組織壊滅

カズマ side

第13管理外世界

人類基盤研究所のとある一室。

少年がパソコンと資料と分厚い本に目を通している。

画面や紙面に表示されている内容は、専門用語や複雑な数式のオンパレードで、素人には理解不能である。

カズマ「う〜〜〜っと」

少年は疲れたのか思いっきり背伸びをする。

少年の名はカズマ。現在15歳。

13歳でこの世界の最高レベルの大学を飛び級の首席卒業、人類基盤研究所にスカウトされた天才である。

かつて、この世界は一人の科学者が不死身生命体・アンデッドの封印をとき、人々は脅威にさらされていた。その対抗策、ライダーシステムの適合者としてもスカウトされたのだ。

サクヤ「少しは休め。無理しても効率は下がるだけだぞ。」

カズマ「サクヤさん。」

カズマが振り向くと、30代の男性が缶ジュースを彼に渡した。

男性の名はサクヤ。カズマと同じく研究員でライダーシステムの適合者である。

カズマにとっては父親のような存在であり、サクヤも実の息子のようにかわいがっている。

サクヤ「今日はその辺にして、これから飯でもどうだ？ハジメやムツキもさそって」

ハジメもムツキもまた、ライダーシステムの適合者である。

カズマ「いいですね。行きましょう。」

カズマは、渡されたジュースを飲み干すと、パソコンの電源を切りサクヤと共に部屋を後にする。

アンデッド事件が集結して半年。事件の爪痕は残っているが、人々は、4人のライダーは平穏な日々を過ごしていた。異世界からの脅威が待ち受けていることを知らずに……。

カズマ side out

最高評議会 side

時空管理局のとある一室。

暗闇の中、三つの声が話をしている。姿は見えないが、声からして3人の男性だとわかる。

男1「アンデッドとかいう不死身生命体。全て封印されたようだが、非常に興味深い」

男2「魔法の無い世界としてしか見ていなかったが。これだけは使えそうだ。」

男3「うまくいけばスカリエッティよりも役立つだろう。すぐに魔道士を送り込む。」

最高評議会 side out

カズマ side

ブレイドキングフォーム「はあはあ・・・こいつらいったい？」

ブレイドキングフォーム（以下BK）に変身したカズマは、肩で息をしながら目の前の状況を理解しようと必死だった。

突如、研究所を襲撃した謎の13人の人間。アンデッドでもライダーシステムでもない。それでも空を飛び、謎の攻撃（魔法を知らないカズマには他の表現ができない）によってライダーシステムを破壊され、絶命したサクヤ、ハジメ、ムツキ。

確かなのは、奴らの狙いがラウズカードであること。奴らが、自分の大切な人の命を奪ったことの2つ。

魔道士「さて、いい加減君にも退場を願おう」

13人の襲撃者も、ライダーとの戦闘で4人にまで減っていた。4

人がBKに一斉攻撃の態勢に入る。

BKといえど、これ以上の攻撃には耐えられない。

BK「うあああああああ！！」

「スピード10・J・Q・K・A　ロイヤルストレートフラッシュ」

BKもロイヤルストレートフラッシュを発動させる。

巨大なエネルギーがぶつかり、その余波が周囲を襲う。

剣が、装甲が破壊されていく中、カズマは意識を失った。

カズマが目を覚ました時、そこにあつたのは信じられない光景だった。

昨日まで過ごしていた研究所、苦楽を共にした多くの研究員、そして敬愛する3人の先輩の亡骸。

カズマ「嘘だ……」

あふれる悲しみの中、カズマは

カズマ「ウソダコンナコトオオオオオオオ！！！！」

ただ一人、叫んでいた。

切札2：組織壊滅（後書き）

こんな出来で申し訳ありません。

最高評議会の会話のシーン。もっとカッコいい悪役台詞にしたかったのですが。
もっと、修行しなければ。

カズマ達を襲撃した13人の魔道士は、全員がAAAランクです。
近いうちに詳細設定を書きます。

切札3：新たなる切札（前書き）

タイトルが「なのは」なのに、なのはが全く登場しない。
ホントにごめんなさい。

次から、なのは達がカズマと戦います。

切札3：新たなる切札

最高評議会 side

魔道士とライダーとの戦闘が終わった翌日。

明りのない部屋で、あの3人の男たちが話し合っていた。

男1「まさか、あの13人がやられるとは。」

男2「だが、ライダーシステムはもう無い。今なら」

研究所の壊滅、ライダーシステムの全滅により『今なら』カズマから、ラウズカードを奪うのは簡単である。しかし、

男3「いや、ラウズカードはもういい。所詮、魔法のない世界の力。これ以上、戦力を投入して今すぐ手に入れるほどのモノでもない。」

男1「スカリエッティに研究を進めさせる。ラウズカードはその後でいい。」

男たちは、ラウズカードの入手を一時中止。別の計画を進めることにする。

この時、カードを奪っていれば歴史は変わっていたのだろうか？

スカリエッティの裏切りにより、自分たちが抹殺されるのはもう少し先の話。

最高評議会 side out

カズマ side

カタカタカタカタ・・・カチ。

カズマ「よし。これで残るは」

魔道士の襲撃を受けてから2年。カズマは17歳になっていた。現在、彼がいるのは人類基盤研究所の地下13階である。研究所は万が一に備えて、予備の研究施設と全てのバックアップデータをここに保存していたのだ。

カズマ「皆。俺はもう『そっちに行けないけど』敵は取るから」

そう言つて、カズマはスイッチを入れる。

その瞬間スーパーコンピューターがフル稼働し、カズマに莫大なエネルギーが注入される。

カズマ「っ！！！！！！！！」

悲鳴にすらならない激痛がカズマを襲う。

カズマは襲撃を受けてから2年間、襲撃者について徹底的に調べた。本来であれば、魔法の無い世界の住人では何もできない。

しかし、襲撃者のデータベース、襲撃者が現れた場所を調査して得た情報、そして天才的頭脳によって彼は突き止めた。魔法を、時空管理局を、次元世界と渡航方法を。そして、敵の中心がミッドチルダという次元世界にあることを。

本来なら、渡航方法を開発した時点で、すぐにでもミッドチルダに行きたかった。

しかし、それでは奴らには勝てない。自分たちが戦った魔道士は、かなりの実力者だったようだが、彼ら以上の魔道士が存在している可能性も十分にある。

勝つための力。ライダーシステム、Kフォームを凌ぐ究極の力。

彼が行き着いた答えは、『全53体のアンデッドとの融合』だった。

カズマ「がああああああああ！！！！！！」

叫びと共に莫大なエネルギーが放出され、まわりの機材は全て破壊される。

土煙の中から出てきたのは、かつて彼が封印した最強のアンデッド、ジョーカーに酷似していた。

唯一の違いはオリジナルの緑の部分が青くなっていること。

この瞬間、53体のアンデッドの遺伝子を持つ『新しい切札』が誕生した。

その名はEX エクストラ ジョーカー

EXジョーカー「さよなら、皆」

そういつて、周囲の機会を完全に破壊し、驚異的な跳躍力で地上に出るEXジョーカー。

EXジョーカー「待っている、時空管理局」

そういつて、EXジョーカーはベルトのバックルに両手をかざしエネルギーを集約。

次の瞬間、その体は青い光となって異次元へと消えていく。

青年は自らを異形に変え、故郷を捨て、ミッドチルダを目指す。

切札3：新たなる切札（後書き）

この作品のヒロインはノーヴェエです。

なのはすら出てきてないのに、何言ってるのこイツとお思いでしょう。

でも、ノーヴェエをヒロインとして設定やストーリー構成をしています。

（ だったら、せめてスバルがギン姉ぐらい出せよダメ作者！ ）

ノーヴェエの登場は次回からです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9553z/>

魔法少女リリカルなのはStrikerS ~ 紫紺の切札 ~

2011年12月30日02時53分発行